

広がる「善意の受け皿」

本やおむつを買って途上国支援

ある商品やサービスを手にするだけで、世界中の恵まれない人々に善意が届けられる。そうした社会貢献活動へ気軽に参加できる仕組みが、身のまわりに増えてきました。人間関係が希薄で、互いに無関心と思われがちな今の社会ですが、「世の中の役に立ちたい」という消費者の熱い思いをすくい上げ、無駄なく生かそうとする試みが注目されています。(渡部薫)

加を呼びかけていく。

寄付金は全額が、アフガニスタンの学校再建や、津波被害にあったスリランカの漁民の暮らしを支える漁船を贈るなどしてきたNPO法人「JEN」(東京)に渡される。勝間さんら出版社から受け取る印税は本の売上げの10%なので、読者から見れば、本の代金の2%を間接的に寄付する仕組みだ。

「チャリティー・ブック・プログラム」と名付け、チャリティーとブックを結びつけて考案した活動の愛称を「Chabo!」(チャボ!)とした。本と鳥のチャボをイメージしたロゴマークを自著の帯などに印刷し

b5面のコラム「勝間式」自分「宣言」を連載する経済評論家の勝間和代さん(39)らビジネス書の人気執筆者たちが、自著の印税の2割をNPO法人に寄付する社会貢献活動を始めた。読者とともに本を通じて、戦争や天災の被害を受けた内外の学校再建などを支援しようという試みだ。

『お金は銀行に預けるな』(光文社)、『効率10倍アップする新・知的生産術』(ダイヤモンド社)など著書の累計発行部数が100万を超えたのを機に、勝間さんが提唱。ビジネス書のベストセラーを連発する和田裕美、小宮一慶、竹川美奈子、酒井稜の4氏も趣旨に賛同した。今後も幅広く活動への参

加を呼びかけていく。寄付金は全額が、アフガニスタンの学校再建や、津波被害にあったスリランカの漁民の暮らしを支える漁船を贈るなどしてきたNPO法人「JEN」(東京)に渡される。勝間さんら出版社から受け取る印税は本の売上げの10%なので、読者から見れば、本の代金の2%を間接的に寄付する仕組みだ。

「チャボ!」が誕生した背景には、消費者の社会貢献活動に対する関心の高まりがある。06年の社会生活基本調査によると、ボランティア活動の行動日数は、01年に比べ増加傾向にある。以前から出版を社会貢献活動につなげられないか考えていたという勝間さんは「CSR(企業の社会的責任)に加えてISR(個人の社会的責任)も問われるのが世界的な流れだ」と話す。

こうした動きは企業経営にも大きな影響を与えている。生活用品メーカー「P&G」(神戸市)は昨年と今年、乳児用紙おむつ「パンパース」1パックにつき、破傷風ワクチン1本分相当額を日本ユニセフ協会に寄付するキャンペーンを実施した。同協会の調査では、主な購買層である20〜30代の女性の6割以上が開発途上国の子どもの

支援に関心を寄せているのに、実際の寄付経験者は2割しかいなかった。特売キャンペーンではなく、収益の一部を寄付する試みへの反応は予想以上に良く、今年2〜3月のキャンペーンでは昨年を上回る約351万本分が集まった。P&Gの担当者は「若い世代は社会貢献したい気持ちはあるが時間がない。

逆に関心を持っていないのに、手帳な仕組みづくりの大切さを感じた」と話す。

クレジットカードの「アメリカン・エキスプレス」は今年1月、会員向けのポイント交換で社会貢献分野の内容を充実させた。すると、ポリオワクチンの費用を国際NGOへ寄付する交換を希望する人が増え、1〜2月の1位になった。

「行き先」を明示

手続きの煩わしさを省き、寄付をしやすいとする仕組みは、これまでもあった。代表的な試みが91年に始まった旧日本郵政公社の「国際ボランティア貯金」だ。貯金の利子の一部を国際的なNGOに配分する制度だったが、郵政民営化にもない昨年9月末で廃止された。

この仕組みには、まだ14億円超の寄付金が残っている。郵便貯金事業の一部を引き継いだ独立行政法人郵便貯金・簡易生命

手続きの煩わしさを省き、寄付をしやすいとする仕組みは、これまでもあった。代表的な試みが91年に始まった旧日本郵政公社の「国際ボランティア貯金」だ。貯金の利子の一部を国際的なNGOに配分する制度だったが、郵政民営化にもない昨年9月末で廃止された。

約1200団体の社会貢献活動を紹介するポータルサイトを運営しているNPO法人「ジャパンウェイ」(京都市)の宇野由紀子さん(57)は、「ここ数年、就職先を選ぶ条件に、大きな利益を上げている企業ではなく、どんな社会貢献をしているかを挙げる学生が増えてきた」という。消費者や企業の社会貢献活動への理解は年々成熟しているとおぼやき、「あとは善意の受け皿を、どう作っていくかが課題だ」と指摘する。

寄付金などの団体でどう使われたかなどを目に見る形で明らかにする。そうした活動の透明性が消費者の信頼を得る下地になっている。日本経団連の会員企業を対象にした調査でも、法人税の優遇措置で全額経費として損金に算入できる国や地方自治体などへの寄付件数(06年度)は、00年度に比べて4割減。

善意を無駄なく世界に

本を出版するだけでなく、同時に社会貢献もできたらいいな。お金を無駄なく生かす団体は、どこだろう?

勝間和代さん



NPO法人「ジェン」



支援

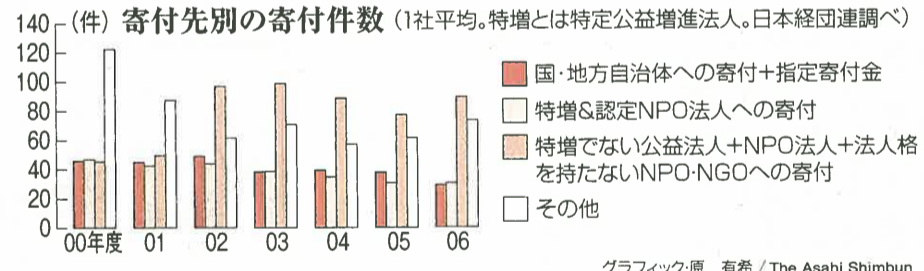


「お金は銀行に預けるな」(光文社) ¥735/税込

スリランカ、アフガニスタン、スーダンなどの学校建設、井戸建設、衛生教育、津波で漁船を流された漁師の支援など、災害や紛争の被災地での教育・自立支援



- その他の活動内容
- ゴスペルスクエアの「10% for the Better World基金」(通称:テン・ファンド) <http://www.gospel-sq.com/about/fund.html>
 - アメリカン・エキスプレスの国際貢献特典プログラム <http://www.americanexpress.co.jp/rewards>
 - P&Gのユニセフキャンペーン - <http://tsunago.jp>



be report

個人と社会貢献活動の新しい形を模索する動きが、活発化しようとしている。